

編輯局報情

週報

號日十三月七

第二一號

昭和十六年七月三十一日
（郵便物認可）
（毎週一回水曜日發行）



五錢

座談會

金屬増産を語る

獨ソ戰と獨逸軍

轉廢業者の進むべき路

新説

常會の頁

生活正義

の月八

興業公

の発出へ

何とぞや
よのてうせう?

「常會の頁」を
購置下さい

露光量違いにより重複撮影

週報

第二五一號
七月三十日

佛印の共同防衛成立……………

轉廢業者の進むべき路

厚生省……………

獨ソ戦とドイツ軍

陸軍省報道部……………

―座談會―

金屬増産を語る……………

支那方面艦隊戦況(六月申)

大本營海軍報道部……………

常會の頁……………

週間誌

七月十九日(金)

▽日本銀行の公定歩合引下げを認可の旨(七月二十一日より實施)大蔵省発表

▽フィンランド政府滿洲國を承認

▽スターリン人民委員會議々長、國防人民委員を兼任

七月二十日(日)

▽海軍の記念日

▽重光駐英大使歸朝

七月二十一日(月)

▽宮中大本營に於て大本營政府連絡會議を開催す、なほ今後も臨時開催の旨發表

▽澄田少將、ドクイ佛印總督と會談す

▽獨逸軍、モスクワを初空襲

▽國家非常時狀態の宣言をルー・スウェルト大統領、議會に要求す

七月二十二日(火)

▽崑崙、鹽城(崑崙)を占領す

▽中支方面海軍最高指揮官に、侯爵小松兼久中將就任

▽關東地方の豪雨に東日本の全鐵道大被害を受ける

▽澄田少將、ドクイ總督と第二次會談す

七月二十三日(水)

▽近衛首相(七月十九日)、汪主席(七月二十日)、メッセージを交換

▽東亞安定に邁進の決意を表明

▽本年度麥作豫想高(七月一日現在)は二千五百九十九万四千石(前年比八十八万四千石)と農林省發表

七月二十四日(木)

▽歸還の多田陸軍大將、細萱海軍中將、宮中に参内、軍狀を奏上

七月二十五日(金)

▽司法大臣に岩村通世檢事總長就任す

▽官廳事務の再編成を閣議で決定

露光量違いにより重複撮影

生活正義

の月八

興亞奉公

の発出へ

何となくやうに
よのせてうらやう

「常會の頁」を御覽下さい

週報

第二五一號
七月二十日

佛印の共同防衛成立………
轉廢業者の進むべき路
厚生省………

獨ソ戦とドイツ軍
陸軍省報道部………

座談會
金屬増産を語る………

支那方面艦隊戦況(六月中)
大本營海軍報道部………

常會の頁

週間日誌

七月十九日(土)
▽日本銀行の公定歩合引下げを認可の旨(七月二十一日より實施)大蔵省発表
▽フィンランド政府、滿洲國を承認
▽スターリン人民委員會議々長、國防人民委員を兼任
七月二十日(日)
▽海軍の記念日
▽重光駐英大使歸朝す
七月二十一日(月)
▽宮中大本營に於て大本營政府連絡會議を開催す、なほ今後臨時開催の旨發表
▽冷田少將、ドクイ佛印總督と會談す
▽獨逸軍、モスクワを初空襲
▽國家非常時狀態の宣言をルーズベルト大統領、議會に要求す
七月二十二日(火)
▽皇軍、蘭城(巨港)を占領す

七月十九日(土)
▽中支方面海軍最高指揮官に侯爵小松輝久中將就任
▽關東地方の豪雨に東日本の全鐵道大被害を受ける
▽冷田少將、ドクイ總督と第二次會談す
七月二十日(日)
▽近衛首相七月十九日(土)汪主席(七月二十日)、メッセージを交換、東亞安定に邁進の決意を表明
▽本年度安作豫想高(七月一日現在)は二千五百九十九万四千石(去年比八十六万四千石)と農林省發表
七月二十四日(木)
▽歸隊の多田陸軍大將、細野海軍中將、宮中に参内、軍服を奏上
七月二十五日(金)
▽司法大臣に岩村通世検事總長就任す
▽官廳事務の再編成を閣議で決定

佛印の共同防衛成立

七月二十一日、日佛兩國間に、大東亞共榮圏の一環たる佛領印度支那共同防衛の取極めが成立、二十六日、左の如き帝國政府聲明及び外務當局談が發表された。

帝國政府聲明 昭一六・七二六

近時帝國と佛領印度支那との關係は、昨年八月松岡アンリイ協定を始め累次の日佛協定に依り急速に緊密の度を加へ來れる處、今般更に佛印に關する共同防衛に付友好的話合に依り日・佛兩國政府間に完全に意見の一致を見たり。

帝國は日佛間に現存する諸取極、就中、佛領印度支那の領土保全並に主權の尊重に關する嚴肅なる約束に依り生ずる帝國の責務は飽く迄これを嚴守すると共に、今後日佛友好關係の増進に努め以て兩國共榮の實を擧げんことを期す。

佛印の共同防衛成立に關する外務當局談

印度支那と帝國とは隨分古い時代から文化的、歴史

的、經濟的關係が深かつた。徳川鎖國前には安南、柬埔寨にそれ／＼二ヶ所の日本町があり日本との貿易は頗る

盛んであつたが、海禁後この關係は切斷せられたのである。近代に入つてから帝國の産業に對する原料供給地として、新たな意味において往時の關係を復歸する傾向を辿りつゝあつたが、昨年來頃はその關係は緊密となり、帝國がその建設に邁進しつゝある大東亞共榮圏の重要な一環となつてゐるのである。

佛國は印度支那の帝國に對するかゝる緊密なる關係及び重要性を良く諒解し、昨年八月松岡前外務大臣とアンリイ駐日大使との間に文書を往復して、帝國の佛印における優越せる地位を確認し、更に本年五月帝國との間に經濟協定並に政治的の了解に關する議定書を締結して、日佛印間善隣友好關係の樹立並に政治的、經濟的緊密關係の増進を圖る等、終始帝國との好意的協力を續け來つたのである。

しかるにその後佛印を繞る内外の情勢は、最近歐洲並に東亞における事態の變化に依り甚大な影響を受け、このまゝ推移せば佛印の安全さへも脅かされんとする

の兆候漸く濃化し來つたのである。若しかゝる情勢が發展して印度支那が混亂に陥るが如きことあらんか、佛國は固より帝國にとりても自衛上看過し難き所であつて、日佛兩國は佛印の地位に關し最も緊密且つ共通なる利害關係に立つことを痛感するに至つたのである。

以上の觀點よりして帝國政府は過般來加藤大使をして、ヴィシー政府と接衝を行はしめつゝあつたが、交渉は極めて友好裡に進捗し、去る七月二十一日日佛兩國政府間に佛印の共同防衛に關し、完全に意見の一致を見るに至つたのである。かくて佛印を紐帶として日佛兩國は一段と緊密なる關係に入つたもので大東亞の安定並びに共存共榮に資すること大なるは言ふ迄もない。

なほ帝國政府が佛印に關する日佛の諸取極を嚴肅に遵守し佛印の領土保全及主權を尊重するの意圖を有することはこゝに更めて言ふ迄もなく、帝國としては今後ますます日佛友好關係の増進に努め、日佛共榮の實を擧げんことを期する次第である。

轉廢業者の進歩べき路

中小工業者の轉廢業は深刻な問題である。なぜ轉業しなくてはならないのか、どんな方面への轉業を國家は希望してゐるか、轉業するにはどこへ行つて相談すればよいか、等を解説したのがこの記事である。

厚生省 職業局

昭和十三年七月に物資動員が全面的に強化されて以來、中小工業者の轉廢業問題は政治的に、社會的に、大きな問題となつてゐる。特に支那事變が長期化し、實際情勢が激變するにつれて、わが國の經濟統制はますます全面的に強化され、中小企業經營はいよゝ困難になつてきた。工業者は製造加工したくても原材料の配給

が極度に制限され、商業者は賣らうにも品物がなく開店休業の日が續くといつた有様で、當業者にとつては正に死活の問題となつてゐる。と同時に、僅かな原材料を無理をして掻き集めたり、僅か數時間の開店で一日を終るやうな商賣を替むことが、國家的にまた社會的に、どれだけの意義があるかを考へるやうになり、時局は業者に

深く新しい反省と認識を與へたのである。

このやうにして中小企業の轉廢業問題は國家の施策と相俟つて全国的に急進に進展してきた。神奈川県下では最近一千名に及ぶ菓子商、豆腐商、氷商などが集團的に轉廢業を敢行し、職業指導所の斡旋で軍需工業の産業職士として勇躍轉向した。こんな實例は兵庫縣にも、岐阜縣にも、また九州方面にも續々現はれ、その大部分は半日就労又は隔日就労のいはゆる「半轉廢」だが、この種の大量の集團的轉廢は今日では全国的な現象となつてゐる。

敗戦的轉業と興國的轉業

もとゞ、轉廢業といふことは戦時下の國家には必ず起る問題で、その原因に、(一)戦争の破壊によるもの、(二)競争力を充實するために起るもの二つがある。(一)の場合は、例へば今次の歐洲大戰で敗れたフランス、オランダ、ベルギー、ポーランドなどの流亡避難民や空爆されてゐる英國民に見られるものであつて、戦に敗れた國民の悲惨な轉廢業の姿である。

(二)の場合は、近代戦争が國家總力戦であることかから當然の結果として生れるものであつて、人の動員、物の動員、精神の動員、特に物の動員によるものが直接的な大きな原因となつてゐる。人の動員は充員召集とか國民徴用による轉廢業で、物の動員は物の製造販賣の禁止とか制限による轉廢業(例へば、いはゆる七七禁令による奢侈品業者の轉廢業)であり、精神の動員は國民生活の緊張、切下げによる轉廢業(例へば、ダンスホール、カフェー等の禁止とか制限)である。このやうに分類すると、(一)の場合は敗退的な轉廢業であり、(二)の場合は興國的な轉廢業であるといへる。幸ひなことに、わが國では敗退的な轉廢業は全くなく、すべて積極的な態勢から發してゐる興國的な轉廢業である。しかし、どんなに興國的な轉廢業であつても轉廢業を餘儀なくされる當人にとつては、非常に重大な問題である。父祖傳來の職業を守り續けてきた場合とか、粒々辛苦して同業者との激しい競争に打勝つて、やつと今日の地位を保ち得てゐる場合など、簡単にその職業を離れる

氣になれるものではない。特に轉廢業は單に本人一人の問題ではなく、その家族、特に子供の將來とか、雇傭人とその家族のことなどが絡んで来るのみならず、現在の中小企業者の大部分は少からぬ負債を背負つてゐるのであつて、現在の營業を續けて行けば、曲りなりに立つて行くが、一度その營業をやめて再出發のために清算するとなると、非常な赤字ができて、負債の重壓のために押しつぶされねばならぬ實狀である。ちやうど自動車に乗つて走つてゐる場合と同じで、相當の早さで車が廻つてゐる間は自動車は安全に走つてゐるが、一旦車の回轉が止まると自動車もろとも乗つてゐる者が倒れてしまふのと同様である。現在の中小企業者は自分の身を保つためには永久にその軌道（カウチ）を走り続けねばならぬ破目におかれてゐるともいへる。これが、業者自身これではならぬと知りながらも、如何ともし難く従來通りの營業を續けてゐる最大の原因である。その他統制方針の見透し難、同業、近隣、親戚への手前等、無理のないいろいろな理由が轉廢業をますます困難にしてゐるのである。

しかし、困難だからといって、國家としてこの問題を放任しておくわけには行かない。前述のやうに我が國のいはゆる興國的な轉廢業は、精神、物資及び人間の動員によつて起るのであつて、精神動員による轉廢業はまだまだ強化せねばならぬといふ議論もあるが、既に一部は實現済みであり、國家全體から見ると、轉廢業の問題としては享樂機關の強壓、娛樂施設の矯正等はその影響はさほど廣くはないが、物の動員關係からはやむを得ない轉廢業が廣範圍に現在數多く現はれてゐるのである。豆の配給がなくなつて豆腐屋が立ち行かなくなり、ガソリンの配給が減つて圓タクの運轉手が職業轉換を餘儀なくされた。ゴム原料の配給が極度に制限されてゴムの町工場が閉鎖し、何十人かの職工が軍需工場に勤めを變へた。このやうな話はわれ／＼の身邊に幾らでもある。しかし、かうした職業轉換は物が足りなくなつたり、儲けが少なくなつたのでやむなく轉廢業するといふのが多い。こんな人達はいろいろな手段を講じ、時には不正な手段を採つても物が得られるなら、或ひは品質を落してでも儲けがありさ

へすれば決して轉廢業はしない。だから、朝の一時間位も店を開けばその日の商賣は終り、しかも儲けは以前に劣らぬ程にあるといふやうな場合——しかも、かういふ場合が相當數多くあるものと一般には考へられてゐる——には後の一日の大部分はブラ／＼して暮し、相撲だ、野球だ、海水浴だ、魚釣りだといふことになる。

最近、關東地方の或る市の商工會議所の調査によると、日曜日以外の日の近郊の魚釣りの大部分は、これ等の有閑中小企業者の主人とか従業員であると報告されてゐる。これ等の状態は物の動員の立場からは別として、人の動員の立場から見ると國家的な損失として見逃せないことである。國家全體から見ると、一方では軍需工場などで猫の手も借りたい程であるのに、大の男が一日の大半をブラ／＼して暮すといふことは如何にも理窟に合はぬ話である。轉廢業の問題は單に本人が儲けがあるからとか、食ふに困らぬからとかいふやうな個人的な立場からのみ考へてはならない。たとひ本人は現在の職業を維持して行けるとしても、遊休的な勞力があれば、國家のた

めにその勞力を捧げねばならない。否、むしろ配給機構の改善整備、販賣機關の合同整理その他あらゆる方法で企業の合理化を圖り、餘剩勞力を作り出し、搾り出して高度國防國家建設に協力せねばならないのである。物に物資動員計畫が必要である以上、その物を製造し、加工し、運搬し、交易する人の動員計畫、即ち勞務動員計畫も必要である。政府では昭和十四年度から毎年勞務動員計畫を樹て、高度國防國家完成のために必要な部面に勞力を集中して來てゐるが、その勞力の供給源は今日まで主に農村方面であつた。しかし、今日まで年々歳々莫大な勞力を提供し續けてきた農村に、今までのやうな數を期待することは、もはやできない事情になつてゐる。特に戦時下急迫を告げてゐる食糧増産の重要使命を擔當してゐる農村にとつて、農村勞力の保有は是非とも必要である。農村がかうだとすると、軍需産業その他に必要な勞務は一體どこから充足すればいゝのか？ それにはいろいろ方法があるであらう。都市にはまだまだ無駄な勞力が相當にあるやうである。國民皆勞の

精神からも、かうした無駄の多い勞務を動員することがまづ考へられる。次ぎには、雇傭の男でなくても女子と老人でできる勞務がある。また女子無業者、特に女學校を卒業して嫁入り支度といつて直接的には國家生産に少しも役に立つてゐない婦人達を動員することも考へられる。このやうに見ると、餘剩勞力はまだ／＼あるやうだが、大局的に見ると大した數字にはならないのであつて、最後の切札として中小企業からの轉廢業者をとり上げねばならないのである。これをとり上げないでは到底勞務動員計畫はできないのである。

昨年の日獨伊三國同盟以來、英米側の我が國に對する經濟壓迫はますます加重し、また、獨ソの開戦は我が國の經濟に非常な影響を與へてゐるから、すべての中小企業が今まで通りにやつて行けるとは到底考へられない。中小企業者の轉廢業は、必至の趨勢にある。勿論、中小企業者の全部が轉廢する必要があるといふのはなく、昨年十月二十二日の閣議で決定された中小商工業者に對する對策にも「各般ノ對策ヲ實施シ及ブ

限り失業者ヲ出ササル様努ムベシ」とあつて、國家として好んで轉廢業者の續出を期待してゐるわけではない。たゞ東亞共榮圈確立のためには國民職業の再編成、中小企業者の少からざる部分の轉廢業は必至である。

どんな職業に轉換するか

轉廢業が必至であるとして、その轉換先はどうなるのか。これは以上のことから當然明らかなやうに、自由に勝手に自分の好む職業に轉換していいのではなく、國家が要望する方面に轉換しなければならぬ。最近、九州の或る有名な温泉場で米屋・酒屋・菓子屋等が擧つて土産物屋に商賣換へしたため、今まで二十軒だつた土産物屋が一躍七十軒になつた實例がある。かうしたことは國家的に見ると全く無意味なばかりでなく、かへつて有害である。では、國家が要望する職業轉換先とは何か、これも前述の閣議で次ぎの六の方面に定められてゐる。

一、軍需産業

現在、軍需産業は非常な勢で生産力擴充を行つてゐるが、一方では人手が足りなくて困つてゐる。物資動員計畫はあらゆる困難を排して軍需産業には豊富な物資を提供してゐるが、勞力はこれに伴つてゐない。この方面で働く希望さへあれば職種の簡易、勤務條件の寛大、採用條件の低下等、就職の門戸は廣く解放されてゐる。

二、生産力擴充産業及び附帯産業
この方面も今は人手が非常に足りない。鑛山勞務者は特に不足が甚だしい。しかし、國民の誰もが鑛山勞務を嫌ふとしたならば、國家は一體どうなるか、地下數千尺の炭坑でシャベルを振ひ、鑿岩機のハンドルを握ることは、地上生活を常態とする人間にとつて決して好ましいことではないであらう。しかし、好むと好まざるとに拘らず何十万かの國民がそこで働かねば國家は立ち行かないのであつて、現に石炭山に働いてゐる人達の中には、賃金など問題ではない、第一線の兵隊さんのことを思へばこんなことくらいは何でもない」といつて働いてゐる人が大勢あるのであつて、國家もまたこれ等の人々の功績を認め、國家的な榮譽を與へるやうに努めてゐる。

三、滿洲開拓民(中小商工業開拓を含む)
四、支那、南洋、その他海外への移住進出
八紘爲宇の大精神を以て東亞共榮圈確立に邁進してゐるわれ等國民は、東亞の天地に、否世界の隅々まで移住、進出せねばならぬ。特に滿洲の開拓は重要であり、既に歸農開拓民の名で中小企業者ばかりで大阪、神戸を他數地方で數團の開拓團を組織して、入植してゐる。拓務省關係でも轉廢業者の渡滿には特別の便宜を圖つて萬全を期してゐる。

五、農業生産力の擴充

國際情勢が今日のやうに複雑、困難になつて來ると何をおいても食糧の自給が最も緊要である。荒蕪地、休耕地があれば一畝でも起して農産物の増産を圖らねばならない。

六、國防上必要な土木事業

普通の下水や道路工事と違つて國防上必要な緊急の土木工事が相當にある。

× × ×

以上のやうに職業の轉換先が示されてゐるが、その轉換については同僚間、同業者組合等で相談して決めることが大切である。前述のやうな集團的な轉換も、道府縣廳や國民職業指導所の指導の下に組合で先づ協議の結果決定したのであつて、同業者が擧つて轉換するために仲間同志の嫉視や反目もなく、また、轉失業の失望感、敗殘感がなく、名譽の轉業として同僚と一緒に堂々と新職業に就くことができる。そして、これ等の新職業への相談機關として政府は國民職業指導所を新設したほか各般の轉業對策を講じてゐる。

以下それ等の施設について説明しよう。

どこに行つて相談するか

一、國民職業(勞働)指導所

政府では中小企業の轉廢業のためにいろいろの施設を講じてゐるが、大藏省の所管である國民更生金庫、拓務省の所管である歸農開拓民その他を除いて、大部分は厚生省の所管に屬する。その内でもこの國民職業指導所

は最も重要なもの一つである。これは従來あつた職業紹介所に、商工省が従來各府縣においてあつた中央商工相談所を合併したものである。

中央には轉廢業の總括的な事務執行のために厚生省内に轉廢課を設け、各道府縣には職業轉換協議會をおき、轉廢業對策について知識經驗の豊富な民間産業團體關係者、事業者、有力者、學識經驗者、官吏が參畫する官民合同の協議機關とし、轉廢業に關する各地方の實情に應じて有効適切な對策を樹て、そこで樹てられた對策の第一線實行機關としてこの國民職業指導所がある。

國民職業指導所は紹介所が單に看板を代へたものではない。職業の紹介といふ極めて消極的な仕事から、國家總力戰の建前から前線後方に亘つての國民勞力の配置を統制する極めて積極的な役割をもつに至つてゐるのである。現在、指導所は本所が三百八十三ヶ所、出張所百六十三ヶ所、合計五百四十四ヶ所があり、職業轉換についての一切の指導相談、就職斡旋に當つてゐる。六大都市に所在のものには轉廢部が、その他の指導所には

轉廢係が設けてあり、これ等の係員は商工業方面の事情に明るい經驗家を配置し、轉業の相談だけではなく、更生金庫に關することでも、滿洲開拓のことでもそれ／＼關係方面と連絡して指導してゐる。

二、職業指導員

これも新らしく轉廢業對策として設置したもので、全國の主要都市に二千數百人の指導員が活躍してゐる。指導員は土地の事情に明るい人、世話役として適當な人、各種組合の幹部等を地方長官が委嘱したもので、國民職業指導所と聯絡をとり指導所の巡回指導係のやうな役目を勤め、指導所に常勤してゐるのではなく積極的に關係者を個別訪問したり、本人の日常の業務を通じたりして轉廢業を斡旋する。

どんな施設があるか

一、國民勤勞訓練所

職業の轉換には心身の轉換が先づ必要である。特に從來のやうに自分勝手に自分の職業を選択することが許さ

れないから、新しい職業に堪へ得る身構へ、心構へを作ることが特に必要である。

何處に設置されるか……東西に一ヶ所づつ、即ち東京府下小平村と奈良市内に各一ヶ所設置される。

どんな規模か……一ヶ所大體六万坪位の敷地に一千人の訓練生を收容し、鍛錬のために五千坪の道場と宿舍を建設する。

入所の手續は……國民職業(勞働)指導所へ申込みばよい。

訓練期間は……大體一ヶ月である。

費用は……一切いらぬ。

訓練の内容は……寮舎に宿泊して、集團的訓練を基に、簡易な技術訓練、勤勞作業、體操、武道、教練、講話等を行ふ。

訓練終了後は……特別な職業相談に應じ、就職の斡旋その他必要な世話をする。

どんな特典があるか……

イ 訓練中は衣食住、すべて無料である。

ロ、多少の手當を支給する。
ハ、修了生には證書を授與し、成績の優秀な者は特別に表彰する。

ニ、就職する者には特別の條件で斡旋する。

委託訓練……右に述べた本訓練所は目下鋭意建設中で、十月頃には開所できる見込だが、それまでの暫定的な處置として各道府縣で、在來の農民道場その他の施設を利用して、大體本訓練と同様の方法で訓練を實施してゐる。その入所は國民職業指導所へ申込みばよい。

二、職業補導所

就職に必要な技能を授け、就職を容易にする一種の教育施設であつて、旋盤工、仕上工、製圖工、或ひは事務員として必要な技能を授ける。

どこにあるか……秋田、沖繩二縣を除き各道府縣の主要都市に百七十三ヶ所あり、東京市は十ヶ所の補導所を持つてゐる。

収容力は……普通一ヶ所三十名乃至四十名であるが、大きな補導所では二百五十名以上のところもある。

全國では一年間に約三万人の人達が新しい職業を求めて補導を受けてゐる。

補導方法は——専門の指導員がゐる懇切に指導する。

補導は原則として晝間行ふが、職業に従事する傍ら轉職を希望する者のために夜間部もある。遠隔者のために寄宿舎のある所もある。

補導の種目は——主に旋盤工、仕上工、検査工、製圖工、事務員、タイピスト等であるが、地方の事情によつてフライス工、熔接工、木工等の種目を實施してゐるものもある。

補導の期間と時間は——概ね晝間のものは三ヶ月、夜間のものは四ヶ月で、事務員補導はそれ／＼二ヶ月または三ヶ月に短縮されてゐる。毎日の補導は午前八時開始、午後四時半終了、夜間は午後六時開始、午後九時半終了が原則である。

設備は——既存の工業學校等を利用してゐるものもあるが、新たに設備したものは、中等程度の實業學校等と比較にならぬ程によい設備と實習材料を持つてゐる。

經費は——授業料等は一切いらぬ。作業衣、作業工具などはすべて貸與するほか、本人の事情に應じ最高一回五十錢位、平均晝間部七十錢位、夜間部三十錢位の手當を支給する。

補導終了後は——適當な工場等へ好條件で斡旋をする。入所資格は——原則として事變のために轉職を要する者を入れるが、餘力があれば一般希望者も入れる。前職、年齢、教育程度等による制限はなく、男でも女でもよい。

申込の手續は——國民職業指導所へ申込みばよい。

三、授産場内職組合

授産場は、離職者のうち就職に適しない健康状態の人、歳をとつた人、家庭を持つた婦人等で働きたい人々のために、一定の仕事場で簡易な作業を教へながら収入を得させる設備で、内職組合は家庭内職の材料、製品、注文などの取纏め、斡旋をする組合組織である。これ等は國家が直接に經營してゐるのではないが、轉廢業者が優先的に利用できる仕組になつてをり、相當多額の國庫補助が行はれてゐる。現在、全國に約三百ヶ所あり、

東京には約二十ヶ所ある。仕事の種類は大體、軍需關係その他の縫製作業、ミシンが約六割で、その他は郷土名産物、金屬製部分品の加工等である。

申込手續は直接授産場に申込んでも、また國民職業指導所へ頼んでもよい。

以上、轉廢業の國家的施設のうち厚生省所管のものを説明したが、固より轉廢業の問題は極めて深刻であつて、一片の口舌、役所的な施策を以て解決すべき問題ではない。父祖傳來の職業、多年築き上げた苦心の稼業から離れることは容易なことではない。國家としては中小企業を殊更に軽く扱ふ意志は毛頭ないが、いはゆる維持育成の時代は過ぎ、好むと好まざるとにかゝらず、國家は強力な職業指導の態勢を採らなければならなくなつてゐる。特に獨り職を契機としての國際情勢の激變は、國內態勢の整備、全産業の再編成、職業の大規模の轉換を要請してゐる。國民が再生の元氣を奮つて新生命を開拓し、國家總力戦に参加してこそ、轉廢業は與國的な轉廢業となり、國家の興隆が期待されるのである。



独ソ戦と独逸軍

戦局の推移

獨ソ開戦以來正に一ヶ月を経過した。この間ソ聯軍はその平素の軍備にものをいはず、ドイツ軍に對して歐洲戰爭開始以來會てない頑強な抵抗力を發揮してゐる模様である。しかし何分にもドイツ軍の組織的攻撃の前には漸次壓倒されんとしてゐるやうで、戦線は逐次東方へと移動しつつある。

即ち七月二十日頃の戦線を見るに、フィンランド方面においてはフィンランド軍は國境線より既に三十軒以上ソ聯領内に進出し、レニングラード附近に迫つてゐる。沿バ三國方面においてはソ聯舊領とエストニア國境線を

突破したドイツ軍は、ソ聯領内インメル湖附近に進出してゐる。またドイツ軍主力部隊の前進してゐるものと思はれるミンスク方面では、ソ聯軍の抵抗も極めて頑強であつて双方共に力戦激闘してゐる模様である。この正面のドイツ機械化部隊は例の楔形戰術によつて地形の障礙を突破して深くソ聯領内に進入し、モレンスクに達した模様である。ミンスク南方はプリペット濕地帯であつて進軍軍にとつては大なる障礙となる。この濕地帯の南側を前進したドイツ軍はキエフ附近に進出してゐる模様であるが、その他のルーマニア方面の戦線はソ軍の抵抗頑強で戦線は現在までのところドニエストル河の線にある。

以上現在までの動向を見るに、國境線によつてドイツ軍の進撃を撃破せんとするソ聯軍當局の企圖は、先づ不成功に終るであらうと思はれる。その後傳へられる情報によれば、ソ聯軍當局は漸次バルチザン式遊撃戦を採用するの已むなきに至つたといふ。

既に殆んど完全といつてもよい程に制空権を奪はれたソ聯軍は、如何に大兵を擁するといへ、その統帥指揮は極めて困難とならざるを得ないであらう。赤軍の敗退を極力喰止めんとする一策であらうが軍の督戰監察官たる軍事委員(政治部員)の制度を急遽復活し、スターリン自ら國防相を兼ねるなどソ聯當局の苦心の程が察せられる。傳へられるところによれば、モスクワ選都準備も行は

れてゐることであり、食糧衣服の切符配給制を復活し、防空設備を急ぎ、義勇軍の募集も盛んに行はれてゐるなど、ソ聯共和国特にその政權としては文字通り危急存亡の秋が到来した。しかし若し戦局が進展し、レニングラードをドイツ軍によつて占領されたならば、バルチック海の制海権は完

全にドイツ側の手に落ち、ムルマンスクをドイツ軍に占領されたならば、英米の援ソルートが遮断されること、又若しキエフをドイツ軍に占領されたならばウクライナの獨立運動もこの機會に促進されることも豫想され、戦局の前途は種々政治的に影響が擴大されるものと思はれる。この際、連戦連勝赫々たる戦果を収めてゐるドイツ軍について一瞥を試みることにしよう。

ドイツ軍の建軍要領

前世界大戦に敗れたドイツ軍は、ヴェルサイユ條約の桎梏の下にはゆる「十萬軍隊」として緩かにその存在を保つたが、幾度か潰滅の危機に瀕したのをヒンデンブルグ將軍などの苦心努力によつて潰滅一步前に支へられ、ヒトラー總統の政權獲得までを経過した。

ヒトラー總統は政權掌握後數ヶ月、内政ほど確立した後その主張である國家自主權の確立を遂行するため、これが國外鬭争の必須軍備を整へんとしたのである。しかし軍備の充實自體がヴェルサイユ條約において禁ぜられて

るるので、こゝに已むなく、いはゆる「秘密軍備」なるものを指導することとなつた。幸ひフォン・ゼークト將軍の卓見により十萬軍隊時代軍政の根本着眼を將來の再建擴張に置き、軍隊の配置を初めその他一切を、全軍を以て歴大軍備の基幹要員とする着想の下に建制された。こゝにおいて統制ある國家機構の全力を擧げての協力の下に、財政を犠牲して支出を惜まず、大なる決意と努力とを以て各種の秘密整備を行ひ、遂に一九三五年三月十六日、今より僅か六年前、中外に向つて突如としてヴェルサイユ條約を無視した再軍備の宣言を行つた。

一九三五年六月には英獨海軍協定を締結し、海軍は英國海軍の三割五分の兵力量を整備する企圖を明らかにした。一九三八年十一月には更に増強された常備兵力を公表した。即ち

陸軍 は集團司令部六、軍團司令部一八、歩兵師團四二(内三は山地師團)、自動車化輕師團四、機甲師團五、騎兵旅團一などである。對ポーランド作戦の際に動かした兵力は約百二十ヶ師團であつた。その後も擴大強化され現在では百五、六十ヶ師團以上であらう。

海軍 は獨英海軍協定により對英三割五分、總噸數四十二萬噸を保有し得るに至つた。一九三八年初め戰艦七別に建造中二、巡洋艦重二(別に建造中一)、輕六(別に建造中一)、航空母艦建造中二、驅逐艦一六(別に建造中六)、潜水艦三六(別に建造中二五)に達した。先般自沈した三五、〇〇〇噸級戰艦ビスマルクは一九三九年初め進水したものである。

空軍 は再軍備宣言に先立つこと二日、一九三五年四月一日突如として空軍部隊の整備を宣言して以來絶

大の努力を以てその擴張を圖つた。永年培はれたドイツ航空工業技術の優越と、航空大臣にして空軍總司令官たるゲーリング將軍の存在とは先づ空軍大擴張の基本條件を備へてゐたといへる。六箇の空軍管區に分れたその大空軍の兵力及び國內航空機工業の月産能力は、何れも一九三八年初めにおいて英、佛、チェッコ三國の合計總數に對し十對八の優位を占めてゐた模様である。チェッコ併合以後、その組織を改め、爆撃機を主體とする空軍攻撃兵力を以て四航空艦隊に編成し各航空艦隊は二箇以上の飛行師團から成り平時左の如く配置されてゐた

防空 は再軍備以前よりヴェルサイユ條約はこれを禁止したり制限してはゐないとなし、防空設備に非常な努力を拂つてゐた。積極防空機關として多數の高射砲聯隊を有するほか民間防空としてはドイツ防空團があつて十五の支部を有し、整然たる組織を確立し、防空學校、婦人防空學校等を設立して防空教育を行つてゐる。

- 第一航空艦隊 (東部) ベルリン
- 第二同 (西部) ブラウンシュヴァイク
- 第三同 (南部) ミュンヘン
- 第四同 (オストマルク) ウィーン
- その他 ケーニクスベルヒ獨立航空兵團 (東プロシヤ)
- キール獨立航空兵團 (沿岸)
- 教育飛行師團 (ベルリン)

なほ陸軍の軍團管區司令部に準じ、全國二十空軍管區司令部が置かれてゐる。

國民一般の軍事組織 もまた發達し、スポーツによる國民體位の向上及び勤勞奉仕による入營前の青年身心鍛鍊のほか、黨突撃隊(S.A)、黨飛行團(N.S.F.K)、黨機械化團(N.S.K.K)による在營前後の軍事教育施設の完備によつて軍能力の増大に偉大なる貢獻を行つてゐる。

國家總動員施設はその國家組織が好適なる基礎に立つだけに世界に類例のない迄に發達してゐると言へる。

かくの如くドイツの國防、軍備なるものは前歐洲戰爭失敗の原因を深く探究し、ルーデンドルフ將軍の叫んだい

敗の原因を深く探究し、ルーデンドルフ將軍の叫んだい



はゆる國家總力戰の態勢完備を目標として邁進、整備されたものであることが今日世界の定評となつてゐる。

ヒトラー總統の統帥

時代は英雄を生み時代を作るといふが、ドイツ軍が今次の歐洲戰爭に今日まで赫々たる戰果を收めてゐる原因の第一は、何といつても天才的指導者であるヒトラー總統の統率宜しきを得てゐるからであらう。

統帥指揮官としてのヒトラー總統をみるに、その偉大なる洞察力、水も洩さぬ慎重な準備、鬼神も避ける斷行力、この三つが兼ね備はつた武將だと思はれる。

イ、洞察力

ヒトラー總統は類ひ稀な心理學者であるといはれる。自國民といはず他國民といはず、よくその心理の動きを洞察してこれに先手を打つことに妙を得てゐる。今次大戰においてヒトラー總統自から第一線將兵と苦樂を共にしてゐる。これは日本軍では普通のことであるが、歐洲の軍隊では稀なことである。第一線將兵に對する心盡し、果ては銃後の指導もよく心理學的見地に立つて實

行してゐる。孫子のいふ「彼れを知り己れを知る百戰危からず」の「知る」は即ち洞察力の意にほかならない。

ロ、周到なる準備

如何なる天才的洞察力と雖もこれに伴ふ周到なる準備が伴はなければ單なる着想に終つてしまふ。今次歐洲戰爭開始以來各種の作戰には皆數ヶ月の準備が行はれてゐる。戰爭の勝敗は一にも二にも準備の如何であるといへる。この點ヒトラー總統今日迄の統帥振りは萬般の準備が行はれてゐることを見逃してはならない。例へば西方作戰の死命を制したといはれる北佛突破作戰について見るに、佛軍側が地形の障礙として油斷をしてゐたアルゲンヌの森林やマース河の守備狀況、マジノ延長線の強度等は長い冬の間に細大漏さず調べ上げ、「此處はかうだから急降下爆撃機何臺に戰車何臺あれば十分だ」とか、「此處から此處までは何日間か突破するを要する」とかいつた具合に相當細かい計畫が出来上つてゐた。ヒトラー總統はこの計畫について幕僚のいろ／＼の意見を附に落ちるまで研究させ、又自からも考へるといふことである。

ハ、斷行

天才的な洞察力と周到なる準備との二つが揃へば、あとはたゞ斷行の一字あるのみである。必勝の確信に基づく斷である。ヒトラー總統の斷行は今次歐洲戰爭勃發以來今日迄世界人を茫然たらしめてゐる有様である。一見不可能と思はれることも常に大乗的に斷行して今日まで戰果を收め得たものと思はれる。

ドイツ軍の作戰振

ドイツ軍の行ひつゝある新戦法なるものは、優勢なる空軍と優秀なる機械化部隊の綜合戰力を敵の弱點に向つて徹底的に集中發揮し、相手の一角を突破しこれを直ちに相手の利用してゐる陣地外に導き出してこれと決戦をする包圍滅戰を敢行するやり方であるやうである。これがためには勿論情報機關の活躍、通信連絡裝備の完備等、指揮用の裝備訓練が優秀でなければならぬ。

むすび

今次歐洲戰におけるドイツ軍の活躍振りはまことに

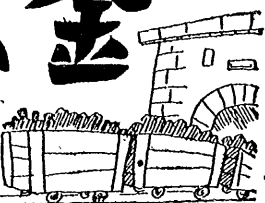
稱讚に値するものがある。敬意を表すべき幾多のものがある。しかしながら吾人の心しなければならぬことは、皇軍は盟邦ドイツ軍に優れるとも決して劣るものではないことである。萬世一系の天皇の統べ給ふ忠君愛國、國民の代表から成る軍隊であり、その精神的要素は正に世界無比である。東亞の大戰場における自然との戦ひ、辛苦は到底歐洲と同日に語ることはできない。のみならず歐洲の軍隊には捕虜となることが公然と行はれてゐるが、わが軍にはないことである。

また歐洲戰の軍隊には白兵戰なるものは意識的には行はれない。この白兵戰なるものは皇軍獨特の戦法であり世界無比である。かやうに皇軍には祖先傳來の優秀な精神力がある。これはヒトラー總統もスターリン國防相もわが皇軍を羨望してゐるところである。吾人はますますこの傳統の精神力を發揮し、更にドイツ軍の如き優秀なる科學裝備を完備することによつて、名實共に世界の指導力を把握し得るものにならなければならぬ。

(陸軍省報道部)

座談會

金屬増産を



支那事變の進展につれ、わが國の金屬の需要は限りなく増加し、金屬増産の必要はいよいよ痛切な問題になつた。ところがわが國の金屬資源は最近諸外國の地金、鑛石類の輸出制限や禁止によつて、その供給力は却つて減するやうな状態なので、今やこれ等不足資源の補充、増産に劃期的な對策が要望されてゐる。今回企業院、商工省、厚生省の關係官、金屬聯、産報の團體代表者の座談會を開き、金屬鑛業の現況、金屬増産の重要性等について聴き、これを掲載することにした。

なぜ金屬増産が必要か

問—ちか頃生産力擴充、特に金屬増産の必要が大變やかましい問題になり、全國的に活潑な増産運動が展開されてをりますが、なぜ金屬増産をこんなに行はなければならぬので

せうか。
答—御承知のやうに、歐洲戰爭は最近非常に擴大して參り、いまや全世界をあげて、これに捲きこまれるやうな形勢にあります。従つてわが國もいつ如何なる影響を受けるかも測られず、現に金屬方面では、



了語

わが國に對して急に地金や鑛石類の輸出を制限した

で決定されるといはれてをりますのを見ても、金屬増産が如何に大切であるかがお分りになることと思ひます。

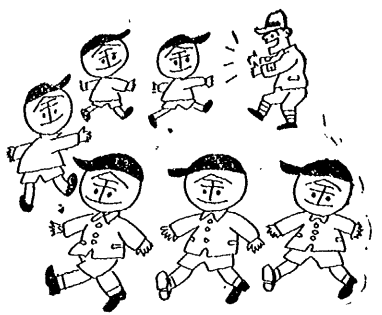
ところが、わが國では、金屬の需要は限りなく増加して行く反面、前に申し上げましたやうに海外から輸入してをりました金屬が相次いで杜絶するといふ有様なのです。今後一層の消費の節約はもちろん、代用品の利用、不要不急品の回収に國民の協力を願ふと同時に、根本的問題として、どうしても増産しなければならなくなつたのです。

我が國の金屬資源

問—では増産の對象ともいふ

べき金屬資源について、日本はどんな事情にあるのでせうか。
答—一口にいへば、日本の金屬資源は非常に多いのです。世界廣しと雖も、日本位狭い面積で、日本位金屬資源の種類において恵まれた國は餘り例がなく、現に稼行してゐる金屬鑛山の數なども實に三千數百といはれ、鑛山のない縣はないといふ有様です。種類も金、銅、鉛、亜鉛、錫、鐵、クロム、マンガ、タンダステン、モリブデン、水銀を初めとし、白金、パラヂウム、オスミウム、やイリヂウム、最近ではコバルト、ワナヂウムまで産出するといふやうに殆んど何でも有りますが、概して品位の低いのが缺點です。しかし銅などは、最近まで世界第三位を

止した國もあるほどです。わが國がこのやうな超非常時に對處致しますためには、一日も早く自給自足の高度國防國家を完成して如何なる事態が起つてもビクともしない構へが出来ておなければならぬのであります。それがためには、金屬の増産といふことをまつ先きにやり遂げなければなりません。戰爭の勝負は、その國の金屬の量によつ



金の山は國民の生活の中心なるものである

ロム、硫化鐵、輕銀、ニッケル、コバルト、タングステン、モリブデン、ワナヂウム、プラチナ、チタニウムその他合計二十數種類が擧げられますが、このうち銅、鉛、亜鉛、錫、水銀、鐵、マンガン、クロム、ニッケル、タングステン、コバルトなどは特に重要視されてゐます。

軍需品として鐵類は勿論ですが、非鐵金屬としてまつ先に指を屈するものは銅である事は申すまでもないことで、銅は亞鉛との合金として砲彈の銅帶・藥莢・信管その他通信機材など色々の方面に使はれることを考へますと、前線、銃後共に非常に大きな役割を果すわけです。鉛も銅に劣らぬ位使はれる範圍が廣く、潜水

艦や飛行機を初め塗料に鉛管に、また化學工業には鉛がないと酸が使へないといふ仕末です。錫は機械用減摩合金、つまり人間の關節のやうな役目に使はれ、錫とアンチモンがなくなると、日本の軍需工場の機械は忽ち動かなくなるといふほど貴重な品です。そのほか水銀が火薬や船底塗料に用ひられ、またニッケル、タングステン、モリブデン等は鋼に混ぜてその性質を良くするため絶對不可缺のものであります。

問——増産はどういふ金屬に重きを置いて行はれてゐるものでせうか。
答——金は申す迄もありませんが、銅、鉛、亞鉛、錫、水銀、鐵、マンガン、クロム、ニッケル、コバルト

問——戰爭に必要な金屬類は一體何種類位あり、どういふものに使はれるものでせうか。
答——金、銅、鉛、亞鉛、錫、水銀、アンチモン、鐵、マンガン、クロム

ト、タングステン、モリブデン等を選らひ、全國から主な鑛山を選んでやつてをりますが、水銀とかクロムとか、タングステン、モリブデン、マンガンといったやうなものは、量は少くとも極めて大切なもので、たとへば小さな鑛山でも特に力癩をいれてゐます。世間ではよく小さい鑛山などはつぶしてしまつて大きな鑛山に馬力をかけた方が効果的ぢやないかといはれ勝ちですが、炭鑛などではそれでもよいかも知れませんが、金屬鑛山ではかういふ考へは最も恐ろしいことです。



いはば第二國民を育てるといつた心構へで、これは物になりさうだと思はれる鑛山は全力を注ぐべきだと思ひます。この趣旨で探鑛をやつてゐる内に段々大きな鑛山となるのです。かうしなければ一定の生産を維持できなればかりか増産は到底出来ません。この點は炭鑛とは金々異ふのです。かういつたやり方で、事變後できた鑛山の中で、相當よい成績をあげる鑛山となつたものも少くありません。探鑛中の中小金屬鑛山はちやうど國民學校の生徒のやうなものです。小さいものでも丹精して大きく育てるやうに心掛ければ、

初めはよし一日一鹿の採掘でも、

いつかは大鑛山になつて來るので

増産と労働力

問——鑛山はあつても問題は掘る人が足りなければ結局増産の期待はできないわけですが、これに對して現在どんな對策が立てられてゐるものでせうか。
答——鑛山はもとく山の中にある關係から主に人口の過剩状態にある農村をバックとしてをり、勞務者はこの方面から大部分入つてをつたのです。また都市方面についてみますと、都市の商工業方面に吸収できなかつた農村出身者とか、都市の日傭勞者とかが鑛山に吸収されて

きかぬといふは、昨今では需要の方が非常に多くなつて來たのでこれ亦樂觀を許さない状態です。

るたのです。従つて鑛山の方で勞務が不足するといふやうなことは以前はありませんでした。

ところが、滿洲事變を契機として増産の必要が起り、勞務者の需要が増し、同時に勞務者は重工業方面にも相當吸收されるやうになつた結果、だん／＼需要に應じて勞力は思ひ通りに入つてこないやうになつて來たのです。

農村から勞力が入つてくる關係で自然勞働力が農繁期になると移動し勝ちになりますので、こゝに鑛山勞務の悩みが起つてきました。

しかし、こんな悩みがあつてもこれを打越えて、どん／＼勞力を動員しなければなりませんので、當局としていろ／＼苦心を拂つてゐるわけ

です。

まづ農村方面からの供給が、目下の農村の状況ではなかく困難なので、農閑期を利用して鑛物の増産に貢獻して貰ふやうにしてをります。このほかに大都市の日傭勞務者とか、現在の轉廢業者とかを吸收する方針ををります。

また厚生省業職局の外雇團體として、職業協會といふものが設けられ、鑛山方面の職員をこの協會の囑託として勞務補導員と呼び、地方の職業指導所の補助機關となつて勞働力を集めるのに協力して貰つてをります。

さらに最近時局が特に緊迫して参り鑛産物の増産が何よりも大切になりましたので、この季節的農閑勞務

者をもつと組織的に生かすために、

全國に鑛山勤勞報國隊といふものを結成して、取り敢へず夏場の農閑期に鑛山で働いて貰ふやうにしてをります。國民は勤勞を以て國に報ずるの熱意で率先参加して戴くやう要望してゐるわけです。

問—どうも鑛山には一般に勞務者の足向きが悪いといはれてゐますが、それはどんなところからせうか。

答—最近まで鑛山へは餘り質のよい者は行かないかのやうに考へられ易かつたのですが、面白いことに遠く戰國時代には鑛山勞務者は相當優遇され、豊臣秀吉や徳川家康などは彼等を野武士として扱ひ世間に重きをなすやうに仕向けたのです

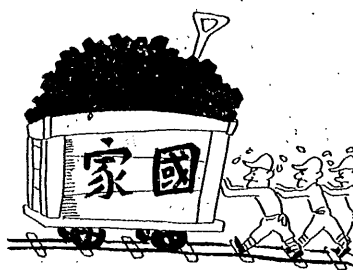
が、いゝ方面は残らないで、悪い方面ばかりが傳へられて來たのです。

今日ではこんな誤解は大分なくなりましたが、しかし未だ昔の悪い方面ばかりを考へ、今日如何に鑛山が重要な位置にあるかを知らず、鑛山は危険だとか、當り前の人間の行くところではないといふやうな馬鹿げた考へをもつてゐる者もありません。

その外技術が進めば進むほど太陽の光から遠ざかり、地下深く働くといふやうな考へも鑛山を親しみ難いものにしてゐるやうです。しかし今日の鑛山は衛生設備や宅居、採光、娯樂その他の厚生施設も相當よく行きとどき、決して恐ろしいところ

でも、危険なところでもありません。

問—本日お集りの方々の中には、金屬増産運動期間中各鑛山を親しくお廻りになつた方がおありですが、その御感想を一つ……



だのな々々大それたをしてしな事仕の家國

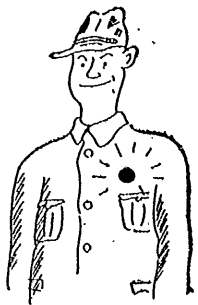
答—私は岡山、愛媛、徳島等の各鑛山を廻りましたが、まづ勞務者の問題では、大體半分以上は附近の農村から通つてくる勞務者で、大部分縁故關係で集つた人達です。報酬

は大體工場などよりはすつとよく、

坑内夫さんは百二十圓から二百圓位で、大體坑外で働く者と坑内で働く者との差は一圓五十錢位が必要で、大抵の鑛山は一割天引で貯金してをり、平均一人二百五十圓位の貯金をもつてゐる有様で、なかく懐工合は豊かです。ある鑛山では従來出來高拂ひでなければ承知しなかつたものが、この頃では目給制

或ひは月給制にしても、むしろ生活が安定すると喜ぶ位で、これなどは勞務者が貯蓄が如何に今日の時局下に必要であるかを理解し、國家のために御奉公するといつた氣構へをよく示してゐる例でせう。

それから危険の状況ですが、これは非常に怪我も多いだらうといふ豫



……たつ打路もでと草葉集

想を裏切つて、工場よりも却つて少
いといふ報告でありまして、鑛山と
いへばすぐ危険だと思はれてゐる氣
持を事實が見事に是正してをり、結
局一般は鑛山が危険なものと感ずる
だけでありまして、この點是非考へ
直していただかなければならないと
痛感致しました。

それから厚生施設なども、前にも
お話がありました、大きな鑛山な
どでは工場などにも見られないやう
な立派な施設をもつてをりました。

線慰問の氣持で奥地の鑛山へでも行
きませう。たゞ餘り見當迷ひのこと
をやつてもいけないから、情報局で
指導してもらひたいと決意のほどを
示してくる方もあり、當局としても
そのひた向きな職域奉公のお氣持
には感激させられてゐる有様です。

増産強調運

動の實績

問——今回の金屬増産強調運動の
効果といふやうなものについて一
……

答——金屬増産強調運動の本當の
實績については、まだはつきりした
ことは申上げられませんが、今まで
の状態から見ると、豫想外によい結
果をあげてゐるのではないかと思は
れます。

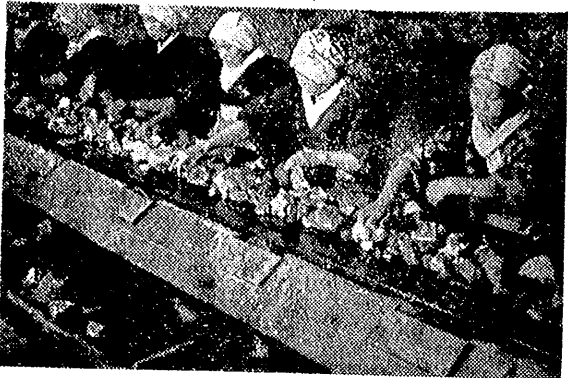
即ち鑛石の生産量は相當額以上
り、鑛山によつては二割とか三割
位増してゐるやうです。しかし鑛
石がこれだけふえても品位の關係
でそれ程の効果はないかも知れま
せんが、少くとも生産については
相當の力が籠つてゐると言へませ
う。

この外に今度の増産運動の効果
として特筆すべきことがあるので
す。それは従來鑛山の勞務者は、
大概喧嘩め者が多く、國民として
は一番社會的に惨めな境遇におか
れてゐるといつたやうな自己を卑
下する氣分が殆んど一掃されたこと
です。今度の強調期間中に中央から
いろ／＼な人が訪れ、これ等の人々



が異口同音に、「あなた方はたゞ食
はんがために地下で働いてゐるの
ではなくて、非常に尊い國家の仕
事をしてをられるかけがへのない
大事な方々なのだ」といふ自覺をひ
き、またさういつた意味を強調し
た手紙が盛んにやつて参ります。
これは非常に大きな獲物だと思ひ
ます。

或る鑛山の例ですが、今まで申
譯ないことではあるが腐つてゐ
た。それがとも角も強調期間だか
らやつてみようといふので、初め
はそれ程氣乗りせずやつてゐる
中に、自分達の仕事は今の日本に
とつて大事なことだといふ氣持に
なり、一度張り切つてみると意外に
仕事が出来た。それで自然と勵みが
出るといつた工合で出勤率もめきめ



(深 作 績 撰 む 十)

よくなり、鑛山始まつて以来の成績をあげてゐるといふことです。また或る山などでは、探鑛と精鑛が豫定量を決めて競争し、探鑛が勝つと白旗、

精鑛が勝つと赤旗を掲げる、揚らぬ方は残念だから頑張るといつたやうな涙ぐましくも明朗な増産風景を展開してゐました。先頃豊田商工大臣がある有名な銅山を訪れ、坑内深くはいつて労働者を激励されたときのこと、一人の年老いた労働者の肩に手を置いて「しっかりと頼みますぞ」といられると、この老人涙をポロ／＼こぼしながら「四十年を山で暮してきたが、わしらの仕事はそんなに國のためになつてゐるとは知りませんでした。だからからは根かぎりやります。」と感激にふるへながら増産を誓つたといふことです。全くちか頃の労働者は真剣となり、職員がかへつて引きすられて行く状態ださうです。このやうな自覚、自奮と本當にやらなければならないといふ熱意を持つやうになつたことは、たしかに今回の運動の著しい効果だと思ひます。そのほかこれまで鑛山といふものを全く知らなかつた一般の人々が、新聞やラジオを通じて認識するやうになつたことも大きな効果でせう。

こゝでちよつと、労働者側の注文をお傳へしますと、今度の期間に下附される大臣賞のやうなものは今後は年一回ぐらゐせひ下附して欲しいものだと言つてをり、中には戦線の兵隊さんと同じやうにどんな勲章でもいゝから、産業章とでも銘打つたものも本當に成績をあげた者にいた

だきたいといふやうなまじめな要望もありました。ドイツやイタリア、スペインなどでは地下労働者に對しては十二分に待遇が講ぜられてをりますが、わが國でも天武天皇が初めて鑛山をお開きになつた時にはかういふ點を深くお考へになつたといふことが文獻などにも出てをりますほどで、鑛山労働者にはぜひかういつた物質、精神兩面の特別な思ひやりが今後どし／＼行はれねばならないことを痛感させられます。

問——さき程のお話で、鑛山労働者の賃金は相當工場労働者よりよいやうにも考へられますが、厚生省の調査をみると、工場の方の平均収入は九十何圓なのに、鑛山の方は八十何圓かで工場の方がよいやうに思は

れますが……

答——それは鑛山の方は無料の住宅があり、購買會などもよく普及してゐて物が安く買へることを計算にいれてゐないからで、實質的には鑛山の方がよいと言へませう。然し鑛山労働者については、今迄よりもつと優遇して生活について後願の憂のないやうにする必要があることは確



で 第 次 結 局 の 者 務 務

かであり、この點については當局としても十分考慮中です。

増産と精神力

問——増産の効果が上るのも、上らないのも結局は労働者の働きにかかつてゐるわけですが、指導者や家族の心構へも相當關係があると思ひますが……

答——石炭増産強調期間の話ですが、金屬と違つて石炭は目に見える成績が上るものでありまして、資材も労力も元のまゝの状態にありながら、實に五割増産といふ驚くべき數字をあげた炭礦がありました。かういふ成績は結局労働者だけで上げられるものではなく、所長とか、

坑長、或ひは技術者、指導者が先頭に立つてこそ初めてこの實例のやうな結果をもたらせるもので、事實坑長など熱心な鑛山は成績も非常にあがつてゐる有様で、いはば精神力の問題とも言へるのです。

さういふ點こそ實は産業報國會あたりで分け持つ責任でもあり、現に一生涯命やつてゐるのですが、前にもお話もありましたが、問題は一般の國民にもつと金屬鑛山の重要性和いふものを知つていただくことです。かういつた意味から、これまで世の中で一番惨めな部類に屬してゐるかのやうに思はれてゐた鑛山勞務者を、さうではない、これだけ國家のために重大な仕事をしてゐるといふ面を、映畫などで國民によく知ら

せる。そんな方法をお考へになつていただき、金屬鑛山の重要性、またそこに働く人達の重い任務を知らせることは、ひいては鑛山の勞務者の勇氣を百倍させ、増産に拍車をかける結果となると思ひます。

この場合、直接彼等に呼びかけるよりも、その家庭に、つまり細君や子供に働きかける方が大きな効果があるといつてゐる坑長もありました。増産期間中にしては細君や子供が旗をもつて坑内に應援に行つたやうなところは、他のところよりもぐんとよい成績をあげてゐることも見逃せない大事な點だと思ひます。

今後の金屬鑛業

問——では次に、金屬鑛業の今後の動向、また國民としての心構へ等についてお話を進めて下さい。

答——今後の金屬鑛業といつても、遠い先きのことは別として、差し當り今日のやうに緊迫した時代には、まづ自給圏内で自給自足することが第一條件です。東亞共榮圏内で不足資源を手に入れたらよいと考へになる方もありますが、數種の金屬は相當期待できませんが、急に手に入り難いものもあります。従つてどうしてもこれ等の資源は自給圏内で賄はなければならぬわけですね。それには今後勞務者を二人でも多く鑛山に吸収して金屬増産の戦士となつてもらはなければならぬのです。

さきほどお話がありました、今度の強調期間の例をみましても、鑛山の職員、勞務者の覺悟次第では豫想外の能率をあげる餘地がまだあるわけですから、この意氣をもつて資源開發に全力を注いでゆかねばなりません。それには既存の鑛山を丹精に發掘し、一方豫備軍ともいふべき新たな鑛山を絶えず探し求めて後から後から代りを育てゆくことを忘れてはならないわけです。さういふ意味で、今後は新しい勞働力を大いに吸収する一方、既存勞働力の能率をうまく發揮することこそ、金屬鑛業の一番大きな問題だと思ひます。

以上いろいろのお話が出ましたが、わが自給圏内或ひは東亞共榮圏内における鐵鑛資源の如きは、滿洲支那等においてもまだ未開發のものがあり、すでに開發したものだだけでも莫大なものがあつて、鐵鋼業の見地から云へば、今後何等の不安もないといつても過言ではありませぬ。しかも幸ひなことには、この圏内には未だ發見されない各種の金屬資源も埋藏されてゐる有様でありまして、今後これ等の資源を開發して行くなれば、變轉極まりない今日の國際情勢に對しても國防上意を強くすることが出来ると思ひます。たゞ金屬の中には豊富でないものもありまして、これ等について

は、今後特に活潑に資源の開發を行ひ、日本としては石にかじりついても必要金屬を確保し、將來の發展に備へなければなりません。目下關係者の御努力に對つて相當の成績をあげてをります。超非常時に直面してゐる今、ますます産業士氣を振ひ起し、鑛業報國の實をあげていただきます。

寫眞週報

七月三十日發行

- ☆表紙 一億の興軍を擔つて三度大任に就いた近衛總理
- ☆淺間丸で來朝のドイツ人避難婦女子
- ☆避難ドイツ人の感激
- ☆臺灣に特別志願兵制度
- ☆防疫隊に活躍の姑娘看護婦
- ☆タイ國の革命記念日
- ☆國民學校と自動車
- ☆八月の國策カレンダー
- ☆名古屋市の海洋少年團
- ☆時局解説
- ☆戦時下の國民生活(二)生活と交通
- ☆お母さんも科學する心を
- ☆常會の頁——八月の常會で話合ふべきことは何々か

支那方面艦隊六月中戦況

大本營海軍報道部

海軍航空部隊

海軍航空部隊は依然重慶の敵軍事施設の徹底的爆撃を繼續すると共に敵航空兵力の殲滅を期し、所在の敵飛行場において敵を捕捉して撃破撃墜したほか、安徽、江西、湖南、廣東、廣西、雲南等の廣汎な地域にわたつて主要軍事施設、陣地、驛施設、軍用倉庫群及び軍用ジャンク、物資補給路ならびに揚子江中流南北の地域における敵軍事據點を爆撃し、青海、甘肅、陝西、四川各省の敵航空基地十二ヶ所を攻撃した。敵空軍の戦意さらになく、逃避に専念してゐるために、これを捕捉することは容易でなく、多大の苦心の結果撃墜または地上撃破し、また、各飛行場附屬施設を爆撃してそれゝ多大の戦果を収めた。

1 中支方面

安慶周邊三十五哩附近の許家嶺、下石牌、羅家亭及び白毛山、池州南方における敵陣地部隊、機雷倉庫等を爆撃し、鄱陽湖北岸の都昌、安徽省西部省境、揚子江北岸の宿松、浙贛線上の吉安、湖南省長沙附近の雷打石及び株州、湖南省湘桂鐵道の要衝衡陽、零陵、北方の冷水灘等を急襲し、敵兵倉、停車場、軍需品倉庫等を撃破した。

揚子江流域地區においては十一日、石埭(安徽省南部北方)に蠢動する敵約二千を陸軍部隊に協力して撃破し、十二日には大通(安徽省揚子江岸)東方三十キロの地點に集結中の敵三百を捕捉粉砕し、十四日には鄱陽および都昌(江西省鄱陽湖畔)の敵據點、軍用倉庫群及び軍用小艇を爆撃または炎上せしめ、十五日には潛山(安徽省北方)に據る敵第七十六師の兵營を爆撃炎上せしめ、十六日には余江(江西省鄱陽湖南方)の敵軍用倉庫群を攻撃し二ヶ所から大火災を生ぜしめ、また、青陽(安徽省南部)南方廟前鎮附近に集結中の敵第四百四十五師約一千を銃

爆撃して潰滅せしめ、十八日には廬江(安徽省北部)の敵軍事施設を撃破又は炎上せしめ、更に安慶南方十里附近に新設した敵機雷倉庫、敷雷隊本部及び敷雷用ジャンクを攻撃し、機雷庫三、火藥庫二計五ヶ所を爆撃炎上せしめ、その他に多大の損害を與へた。二十日には舒城(安徽省北方六十哩)の敵第三百三十八師司令部を急襲し兵倉及び軍用倉庫群を撃破し、うち一ヶ所を炎上せしめた。二十一日に安慶北方の廟前鎮の敵軍事施設に、二十三日には南昌南方余江の敵軍用倉庫群を爆撃、二十四日には安慶西方の太湖を急襲して敵第五百二十六團本部及び縣黨部を爆撃し、また、湖北省公安(沙市南方)の敵軍用倉庫群を炎上せしめた。二十七日には宿松(安徽省西南)の國民兵團本部兵營及び附屬倉庫群を完全に撃破破壊せしめ、更に大官湖北岸において敵軍用小艇舟艇約百隻を銃撃して破壊し、二十八日には安慶西方陳家老屋における敵第三遊撃隊本部及び兵倉を爆撃、三十日には堯渡街(安徽省南部)の兵倉を爆撃した。

2 奥地方面

重慶攻撃は一日、二日、五日、七日と連続爆撃して軍事施設を粉砕し、第八回攻撃には敵の二機に遭遇し、一機を重慶廣陽壩上空で撃墜した。十一日第九次重慶爆撃を行ひ、重慶北方磁器口の軍用倉庫群、軍需品工場を攻撃撃破、一ヶ所を炎上せしめ、また、重慶郊外の石馬洲飛行場の附屬施設、十四日、十五日には重慶市内の政治および軍事施設を爆撃した。十一日及び二十日には敵第六戰區の據點である恩施(湖北省)の軍事施設、飛行場を爆撃し、十二日は粵漢鐵道の要衝衡陽(湖南省)周邊の敵軍用倉庫群を攻撃し一ヶ所を炎上、その他を爆撃し、十五日には長沙(湖南省)を急襲し、敵第九戰區司令部及び湘南大學に據る敵兵を爆撃し、また益益(湖南省東部省境)飛行場攻撃の部隊は飛行場内の多数のガソリン罐を銃撃炎上せしめたほか敵中型飛行機一機とトラック數臺を銃撃によつて破壊した。十六日には梁山(四川省東部省境)と廣南(雲南省東部省境)の敵軍事施設を爆撃し敵に甚大な損害を與へ、十八日には長驅して蘭州を急襲、東西兩飛行場にあつた中型機一、イ十五型機一計二機を銃撃炎

上せしめたほか西安城内西部の軍事施設を爆撃し、一ヶ所を爆発・火煙に歸せしめた。二十一日には甘肅省北部省境涼州を襲ひ、城内敵軍事施設を、また、陝西省寶鶏の敵軍用倉庫群及び高角砲陣地を爆撃して炎上せしめ、二十二日には成都西南方雅安飛行場を銃撃して地上の敵機二機を炎上、または大破せしめ、天水(甘肅省南部)飛行場上空では敵の一機を撃墜し、また、四川省北部の廣元飛行場上空で敵大型機三機を撃墜し、計六機を撃滅したほか雅安、天水、廣元、涼州、安康(陝西省南部)、蘭州各地の飛行場を爆撃、大なる戦果を収めた。

二十三日には前日に引續き長驅して青海省の西寧航空基地を攻撃し、世界空戦史上に長距離攻撃の記録を樹立すると共に四川省の松潘、成都、雅安、廣元、陝西省の南鄭、安康、甘肅省の天水、成縣の各航空基地を逐次攻撃し、軍事施設、飛行場等に多大の損害を與へ、殊に宜賓では敵の七機を炎上大破せしめた。二十八日には萬縣と忠州(四川省)の軍事施設を爆撃、また炎上せしめ、更に悪天候を冒して第十二次重慶攻撃を實施し、軍需品工場

三ヶ所を爆撃炎上せしめ、二十九日には第十三次重慶攻撃を敢行、同地と對岸江北の軍事施設を潰滅、三十日には第十四次重慶爆撃を實施、残存軍事施設を撃破した。

8 南支方面

雲南省北部省境の昭通を急襲し、飛行場に隠蔽した大型機四機、小型機四機を反復銃撃によつて炎上または破碎し、廣東省沿岸及び西江河口附近の柘林、崖門、黃岡、南澳島對岸等において敵遊撃挺身隊本部、軍用倉庫群及び軍需品輸送中のジャンク群等を爆撃した。廣西省西部省境の寧明、北部の要地南蘭、鬱江流域の橫縣等の軍事據點を撃破し、滇黔ルートの要衝である廣西省西部を貫流する北盤江上の吊橋に對しては一日、三日の兩日これを攻撃したが完全切斷に至らず、八日の攻撃によつてその橋梁を完全に爆撃、滇黔ルートの遮斷に成功した。

艦艇陸戦隊の戦果

1 北支方面 石島附近及び連雲港附近の大浦埠頭所在の

敵並びに北雲臺南方の高公島に蠢動する敵を撃破し、嵐山頭附近の敵を海上から砲撃して相當の損害を與へた。

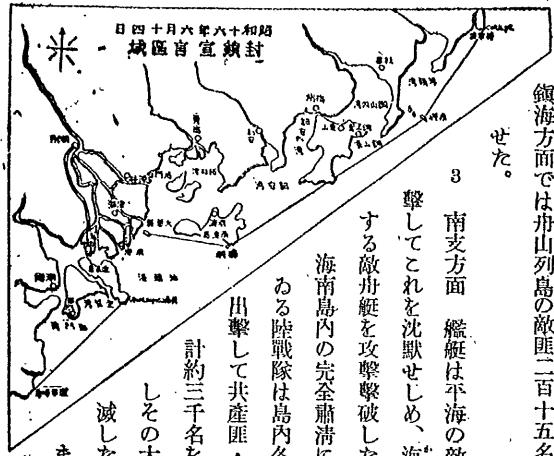
2 中支方面 揚子江上における艦艇は炎上を冒し流域三十數ヶ所に陸戦隊を揚陸、敗殘兵計約五百を掃蕩撃破した。

鎮海方面では舟山列島の敵艦二百十五名を歸順させた。

3 南支方面 艦艇は平海の敵陣地を砲撃してこれを沈黙せしめ、海晏に増集する敵舟艇を攻撃撃破した。

海南島内の完全肅清に従事してゐる陸戦隊は島内各地に連日出撃して共產匪・遊撃匪等計約三千名を捕捉攻撃しその大部分を殲滅した。

また、沿岸航行遮斷



に従事してゐる艦艇は、北支方面において三千三百五十一隻、中支方面主として黃浦江上において二万八千七百十三隻、揚子江及び浙東沿岸において三千六百三十七隻、南支方面において百四十六隻、海南島附近において十七隻、計三万五千八百六十四隻のジャンクを臨検して、多數の援蔣軍需品を發見處分した。

なほ、六月十四日、最近第三國船が柘林灣方面に行動せんとする情勢にあるのに鑑み、支那方面艦隊司令長官は昭和十五年七月十五日附の杭州灣その他の海面出入に關する宣言に左記區域を追加、その効力は昭和十六年六月十七日午前零時以後發生すべきことを宣言した。

イ 連華山峯角と表角(Good Hope C.)連結線以西の海門灣企望灣及び附近海面
ロ 大萊蕪、南澳南端嶼、赤嶼及び將軍澳(特甲頭)を順次に連結する線を以て包む柘林灣、詔安、銅山、浮頭灣及び附近海面

本期間における機雷處分數は揚子江において三十二箇、珠江においては九十箇、計百二十二箇であつた。

常會の頁

さあ常會を開きませう

—これを手引にして下さい—

常會は隣組の現であり、一億國民がまごころをもちよつて、お國のために協力しようといふ眞摯な集りです。上意を下達し、下情を上通し、お互に團結して國策に協力する集りです。上意を下達し、下情を上通し、お互に團結して國策に協力する集りです。上意を下達し、下情を上通し、お互に團結して國策に協力する集りです。

はなりません。

週報は、「民一億の回廊板」として、その内容はかういふ會合で、傳達されて、みんなの國家活動の原動力となつてゆきたいのですが、今度、更に、毎月の最終號に、かういふ「常會の頁」を新設し、全國的にとり上げるべき議題や實踐項目、その他常

會指導に必要な記事掲載することになりました。その他のこの頁では、地方の隣組、常會活動のよい事例を紹介し合つたり、常會に關する質疑にも答へて行きたいと思つてゐます。常會が正しい方向に進むための指針として活用をお願いします。

常會の開き方

☆ 日時と回数

隣組常會は毎月一回は必ず開きませう。市町村で定日のきまりがなければ、一日の興亞奉公日に定めるのも結構ですが、みんなが都合のよい日を相談され、きめて置く必要があります。時刻は夕食後、夏は八時頃がよいです。時間進行を申合せて、夜更けまでだらだら開くといふことのないやう二時間

以内が適當です。

必要あれば臨時常會も開きませう。隣組内の重要問題はみんなできめませう。

☆ 會場と座席は

會場は隣組内に、學校、公會堂、社務所、寺院、教會など集合にふさはしいところがあつたら、そこを借りるのも結構ですが、みんなで相談して、各戸が持ち廻りで開くのもよい方法です。

座席も會議式でなく、圓座式に、うちくつろいで話が出来るやうにし、来た者順に奥へ、空席のないやうにつめることにしませう。

☆ 誰が出席するか

世帯主を主體として、なるべく多数出席するのが理想です。少くとも各戸から一人は出席しませう。家族や他人を出して置いて主人や主婦が知らぬ顔してゐるやうでは困ります。

☆ 會の順序は次のやうに

- 一、開會
- 二、儀禮(會旗、通拜、祈念、常會の誓等)
- 三、組長よりの傳達や報告
- 四、協議、懇談
- 五、申合など
- 六、講話(研究、體驗發表、和樂等)
- 七、儀禮
- 八、閉會

☆ その他の注意

七月の興亞奉公日には、國民の生活力を強めるために、「國民生活の集團化、協働化」つまり自分本位のバラバラの力では駄目だ、みんなが集つてお互の力を協働せよといふことを取上げたわけですが、八月の興亞奉公日は、「生活正義への出發の日」とし、私達が日常生活



八月の興亞奉公日は……

「生活正義への出發の日」

七月の興亞奉公日には、國民の生活力を強めるために、「國民生活の集團化、協働化」つまり自分本位のバラバラの力では駄目だ、みんなが集つてお互の力を協働せよといふことを取上げたわけですが、八月の興亞奉公日は、「生活正義への出發の日」とし、私達が日常生活

小工業地帯、商店街等で比較的同じやうな生活をしてゐる所ではなほ一段の工夫と實行が望ましいものです。

(6) 共同貯蓄

戦つてゐる日本にとつて何をしておいても重要なことは貯蓄です。個人の貯蓄はもちろん結構ですが、共同貯蓄もまた必要です。隣組なり部落會で申合せ、共同してお互に勵まし合ひ、銘々の力に應じて貯蓄し、百三十五億貯蓄の達成に一層努力をしませう。

(7) 社交様式の規律化

農村で借金のできる最も多い機会、結婚と葬式の時だといはれます。歳をつぶしてまで虚費を張つたがる古い考へを捨て、簡素の中にも威厳さのこもつた新しい様式を生み出させう。

この實例として愛媛縣下での結婚改善同盟があります。これは同縣で規定された結婚改善基準に未婚の青年男女を加盟

させ、この基準を實行することを誓はせるものです。又富山縣の某町の例としては積極的に生活改善規約をつくりこれを厳重に實行させるために、特に町内に四十八名の警備員を任命して、警察署とも連絡をとり、萬一規約を破つた者に對しては常會を通じて報告し厳戒してをります。また宮城縣の或る村では結婚や葬式の引物全廢を申合せ、若し違反した場合はその家に置いて歸ることを實行してゐます。

(8) 國民皆勞の強調

今までは、働かなくて暮らして行けるのは結構な身分など、言はれたものですが、そんな社會的な優越感はこの非常時には通用しません。國民皆勞、皆んな力を合せて働かせませう。特に學生は夏休といふ觀念を捨て、夏休みはあくまで夏の鍛錬でなくてはなりません。

(9) 夏季における交通緩和への協力
これは四十七頁を御らん下さい。

厚生、互助、隣風の八係があり、八戸が各自に責任分擔をなし、この外月當番があつて、その月は各係の輔佐役となり、常會のことも一人一役的に廻らされてゐる。組員で隣友會をつくり、各自の趣味、娯樂を通じて隣組を融和、和樂の道場とし、常會が終つてから和樂の時間として、川柳の投句などで楽しむこともある。

實踐運動は、事變下の國民運動は悉くこの常會の中合として實行されてゐる。慶弔様式の如きは町會規定を厳守し返禮は廢し、戦時生活に一新されたのも常會の活動が齎らした結果である。

佐賀縣佐賀郡兵庫村野中部落

この部落は、五十九戸であつて、常會は毎月一日の夜、正見寺といふお寺に開いてゐる。出席總數實に百六十人とい

資源動員協力運動

— 廢品回收手近かな奉公 —

(商) 正省主催の資源回收と代用品展覽會が全国的に開かれる機会に、同じ期間中全國を關東、東北、北海道、東海北陸、近畿、中國四國、九州の七つの區域に分け資源動員協力運動が行はれることになり、すでに七月十九日關東地區を皮切りに開始されてをります。

なぜこんな大運動をやる必要があるのせうか。ご存じのやうに、猫の目のやうに變る世界を相手に高度國防國家の建設をめざしてゐる日本にとつては、今一番必要なことは、自給自足經濟の確立、つまり外國の世話などにならず戦争に必要な物資はすべて

することです。それには私達が力を合せていろいろな鐵

製品や銅製品はもろもろや紙屑、ゴム屑、皮革屑、硝子の破片、廢電球から古ペン、カミソリの刃、チューブ、ビンに至るまで一切の廢品を再び資源として國家のお役に立たせるやうに努めなければならぬのです。

こんどの資源動員協力運動も、要するに家庭や工場、會社等からもつとく廢品を出して戴くやうにする一方、多少な(不)便は忍んで代用品をどしどし使つて貰ふやうに一億國民に協力して頂くやうお願ひする運動とも言へるのです。このために期間中は商工省主催の展覽會場等に相談所を設ける外地方主要都市での展覽會や代用品即賣會、講演會、座談會、購買會、映畫會などがある筈です。

(日) 木だけの力で助へるやうに準備

ふ記録がある。行事は

- 一 敬禮
- 二 開會
- 三 靜座默禱
- 四 進拜並びに禮拜(本後)
- 五 國歌歌唱
- 六 御製朗誦並びに誓詞奉讀
- 七 詔書捧讀

の順序で行はれる。御製朗誦は婦人だけで齊唱するが、その和やかなかに自ら襟を正して皇民としての決意が新たにされるのである。次に協議懇談に入るがその次第は一定の進み方であるが、或る日の常會の記録を示すと

- 一、村役場の報告(吏員)
- イ 徴兵適齡者の届出、ロ 海軍志願兵の申込み、ハ 甲種飛行士志願申込、ニ 應召遺家族

お互ひに

慎みませう

「デ」 涼み話に花を咲かせようとして、或る人から聞いた話です

「マ」 「デ」などとよくデマを飛ばす人がありますが、これがもととなつて非常な有害なものとなり住々飛んでもない結果を引き起すことがあります。それでこれを取締るため、デマを飛ばすと處罰されることになってゐます。ではどんなデマを飛ばすと處罰されるか挙げて見ませう。

刑法一〇五條の二以下を見ますと人心を惑はす目的で事實無根の事を言ひふらすと、五年以下の懲役若しくは禁錮または五千圓以下の罰金、銀行預金の取付やその他經濟上の混亂を起す目的で虚偽の事實を流布すると、三年以下の懲役若しくは禁錮または三千圓以下の罰金、また國防保安法第九條を見ますと外國とせしめ合せ、または外國に利

弊を起す目的で虚偽の事實を流布すると、七月以下の懲役または五千圓以下の罰金、天災その他事變の時に人心を惑はしたり、經濟上の混亂を起すやう

常會 質問を募る

來月からこの「常會の頁」に「常會 問答欄」を新設します。常會の聞き方、その他常會についての質問がありましたら、ハガキに要領だけ簡単に認めて、東京丸の内情報局週報編輯室宛にお出し下さい。表に必ず「常會問答」と朱書のこと。な虚偽の事實を流布すると、三年以下の懲役若しくは禁錮または三千圓以下の罰金、また國防保安法第九條を見ますと外國とせしめ合せ、または外國に利

寫眞の完成、ホ納税期日の通知

二、村農會の報告(技術員)

イ、坪刈の成績、ロ、各中等學校生徒稲刈奉仕の日割、ハ、寸銀先の回収と再生利用、ニ、現の個人賣却禁止

三、學校の報告(學校長)

イ、學校費の寄附、ロ、運動會の御禮、ハ、廢品回収成績、ニ、青年團の體育、ホ、小學校の體育、ヘ、婦人會の蒲團寄附、ト、青年學校の勞力奉仕

四、産業組合の報告(役員)

イ、百俵貯蓄の達成、ロ、碎米購入等が済んでから協議懇談に入る。協議懇談は防空演習の實施や、出征兵の遺家族の勞力奉仕、地下足袋代用の草鞋講習會の開催、麥作増産と肥料の配給、衣類の仕立直し、女子青年團の託兒所、奉仕等である。

益を與へる目的で治安を害するやうな事を言ひふらすと、無期または一年以上の懲役となり。なほこのほか警察犯處罰令にも、流言浮説または虚報をした者、陸軍刑法では虚言飛語をした者、取引所法には、相場の変動について虚偽の風説をした者、偽計を用ひた者等を嚴重に取締つてゐます。

この夏こそ

八月一日から二十二日まで、例年のやうに全国的にラジオ体操の會が開かれます。二億國民總動員の秋、大切な身體を鍛へ、大いに元氣を養ひませう。マ会場は國民學校や公園などで、午前六時からです。マ会場へ出られない方、家庭のラジオで

ラジオ体操の會員に

實行願ひます。隣組の方はお揃ひで街頭や店先で氣輕におやり下さい。マ部落ではラジオのあるところへ集つてご實行願ひます。またラジオ体操をおやりにならぬ方は、この夏からぜひお始め願ひます。ご自分の健康のため、そしてお國のために

報告は細かに説明されて婦女子子供でも理解し納得する。校長さんが青年體育について明治神宮體育大會に本村から選士五名が出席できるのは村の大きな名譽であると報告した、この名譽を分つ村人には經費負擔の義務がありますと即ちには贅意を求めると、村里の常會風景である。一村一體、部落一心、結ばれた協同の精神の現れである。

この常會で朗誦される御製は左の三歌である。

さしのほる朝日のことくさわやかに
もたまほしきは心なりけり
おのか身はかへりみすして人のため
葉すそひとの務なりける
國をおもふみにふたつはなかりけり
軍の場にたつたぬも

最近の氣象と

農家の心得

稲作

多雨、低溫、日照寡少の天候が最近連日續してゐるから、この際農家は特に稲作上左の點に注意していただきたい。尤も現地の實際的環境によつておのづから対策も異ふから、よく指導員の指導に従ふべきは勿論である。

- 一、冷害を被る虞れある地帯では
 - ▽水溫及び地溫の上昇に努めないこと、例へば掛流しをやめ、田の浮草、青みどろ等を除去し、水路の草刈を行ふなど
 - ▽畦畔の草刈を勤行し生産力高き畦畔附近の稻株に對する光熱の遮閉を防ぐこと

- 二、その他の地帯では
 - ▽天候の恢復と共になるべく淺水となり、入念に中耕除草を行ひ、追肥をなすこと、但し稻熱病の發生に注意すること
 - ▽稻熱病の防除は、一、に記した方法によること
 - ▽今後蒸熱の天候續く場合は、浮塵子發生の虞れがあるから常に田圃の中央部を調査してその發生に注意すること
 - ▽冠水により枯死したものは速かに殘莖、豫備苗、陸稻の間引苗、株分苗等を以て改植すべきは勿論だが、損

傷の程度によつてはみだりに手を加へることなく暫く淺水中に放置し生育の恢復を待つこと

▽冠水した稻が退水後に生育が幾分恢復したならば、排水して少量の速効性窒素肥料を施用すること、但し肥料成分又は耕土の流入する水田には注意すること

▽土砂類の流入した田については、できるだけ速かにこれを取除き、且つ稻株が相當しつかりしてゐる場合は速かに中耕を行ふこと

甘藷

潅水せる甘藷畑は至急排水に努め、畑の乾燥を圖り、なほ念のため探り掘り等を行ひ地下部の腐敗したものは、跡作物として早生甘藷の適する地方は直ちに藪を挿して更新を圖り、又濕潤な畑は乾燥に努め生育に應じ追肥を施し、強健な生育を圖ることが肝要である。

夏の傳染病を...

豫防しませう

夏の傳染病といへば先づ赤痢、傷寒、腸チフス等の消化器傳染病ですが、これ等の傳染病の原因はいろいろあり、食物を通じて口から入つてきます。そして、これらのばい菌は患者は勿論、健康の大腸や小便と一緒に外に出るのですから、豫防上この點には十分の注意が肝要です。

そこで用便後や飲事前には特によく手を洗ひ、居所は常に清潔にして調理器具や食器もきれいにし、飲食物はなるべく煮炊したものを選び調理したあとでも湯などで汚さないやうに氣を付けてなければなりません。

また、夏は、とくに、生物や動物が好まれますから、これにも十分注意が必要で、買物や不注意な開食が原因で疫病となつて愛児の生命を奪はれる例は後山あります。今年も全国的に腸チフスが多くの外食を好むする胃腸病等の特にも豫防注射をきつておきたいものです。適宜な冷たいお湯をこぼして傳染病にかかり易くなり、また、ふだんからお腹を強くしないやうに健康に十分注意下さい。

蔬菜

栽培上の対策

長雨、多雨のため土が流されてゐるから土寄せをし、根の保護をすると共に追肥を施し、草勢の恢復を圖ること

播種

浸水、潅水等のため被害甚だしいものは、收穫を早く切上げ、ま播種期の夏大根、美濃早生大根、まびきな、夏胡瓜、越瓜、三寸人参等を至急播種し秋蔬菜の出廻るまでの品薄期に備へること

なほ栽培者並びに消費者も、青果物にもつと關心を持ち、養分的、實質的なものを生産、消費するやうにしなければならぬ。今後の種類、品質の選擇に當つては農地關係等を考慮し、養分、貯蔵性等實質的形質を具へた多収品種を重んずると共に、消費者もこれ等の實質的なものを消費するやうにしなければならぬ。

麻類

芋麻及び大麻は概ね收穫期に達してゐるから暴風雨のため倒伏挫折したものは速かに收穫して纖維を調製し、なほ強風のため損傷懸念してゐるものの纖維は品質の低下を免れないから損傷懸念の有無程度により茎を選別して調製を行ひ、荷造りのときにはこれを厳に選別すること

なほ又大麻の未だ收穫時期に達せず被害比較的輕微のものは、畦間に入り交差せるものを直し、挫折してゐるものは起し、十數本づゝ軽く結束して素直な生育を繼續させるやう手當をなすこと。

馬鈴薯

連日の降雨により收穫期に入れる馬鈴薯はその含有水分を著るしく増加せる傾向があるから收穫後輪送の圓滑を欠き或ひは長期貯蔵等の場合は何れも腐敗を招

く度れが多い。従つて、栽培農家は農會等の計畫の出荷に従ひ無統制の出荷を絶體に慎むこと。なほ降雨後の急激な照射

は病害蔓延する度れがあるから藥劑防除につき特に留意すること。



知つていただきたい 公定價格の意味

この前おすしの公定價格が一つ十銭と決められたとき、いままで八銭だつたまぐろやこはだまが急に十銭にはね上がり、すし蒸を面喰はせたといい記事が新聞に出たことがあります。これでは、皆さんがやすくおすしが食へるやうにとせつかく公定價格をきめた政府の親心がかへつて、あだをするわけです。

てみると「公定價格は政府が決めた値段だから、これより安く賣つては規則違反になるから」といふやうな方が多いやうです。もちろん本當にさう思つてまぢがひをおかしてゐる方もあるかも知れませんが、中には十分悪いことを承知の上で値上げしてゐる人も少くないやうで、かういふ人達こそ非國民といふべきです。公定價格は一言でいへば「最高販賣價格」で、つまりこの値段以上に高く賣つ

不急の電報はやめませう

最近電報の数が非常に多くなつたため重要電報に支障をきたす虞れがあるところから、逓信省では取扱上の制限を實施してゐます。見舞などの儀禮電報や返信料前納、夜間配達のやうな特殊取扱のものを中心し、また同文の特殊取扱は一挿通数を五通以内、制限する等ですが、これを機会に、比較的急を要しないもの、儀禮的なものはなるべくやめて、大切な電報に支障の起らうやう皆さんの協力をお願いします。

たり、買つたりしてはいけない値段なのです。(商工省では誤解をなくすために、この間、公定價格といはず、最高販賣價格と呼ぶやうに改まりました。)ですから公定價格より安い値段で取引することは一向規則違反でないばかりでなく、むしろ

さうすることこそ公定價格が設けられた趣旨を實際に生かすことになるのです。これから公定價格の品はもつとくふえる

でせうが、ふえればふえるだけ日用品が安くなり、私達の生活が豊しくなるわけですから、賣る方も買ふ方も公定價格の本當の意味を知り、お互ひの努力と理解で明るい職時生活を送れるやうにしようではありませんか。

やうな制限がしてあります

海へ山への旅行の季節となり、最近の鐵道の混雑ぶりにはものすごい程です。そこで鐵道省では、次のやうな旅行制限をすることにいたしました。この際なるべく旅行はおやめ下さるやうにお願いします。

なるだけ旅行は止めませう

一、海山温泉への避暑旅行遊

一、海山温泉への避暑旅行遊
二、満員その他運轉上必要な場合にも右と同様の取扱をいたします
三、急行券の發賣枚数は適

宜制限することになつてゐます。また急行券の發賣額が指定されました(原則として急行列車停車駅) 四、入場券はその時々々の情況に應じ随時發賣を停止させていただきます

一、海山温泉への避暑旅行遊
二、満員その他運轉上必要な場合にも右と同様の取扱をいたします
三、急行券の發賣枚数は適

らか省道線
せら知おの

露光量違いにより重複撮影

官廳編纂圖書だより

◆国民の道、教皇局編纂 皇國国民の道は國體に淵源し道徳にして廣汎である。本書は現下の緊迫せる時局に鑑み、国民の道徳を明確にし、國民道徳の振起場場を資するため編纂されたもので、世界新秩序の建設、國體と国民の道、国民の道の實踐の三章に分けて記述されてゐる。(九二頁) 定價二〇〇圓 發行東京市神田區大塚町内閣印刷局 昭和十六年七月三十日發行

文部省推薦圖書紹介

◆子供記(鈴木康太郎著) 本書は一國民學校の教師によつて隨筆風に書かれたものであつて、「學校生活」のお物語り(新聞文)など六十七篇の子供の生活に關する觀察を載せてゐる。子供のありの儘の微笑ましい姿を飾らずに描いてゐる所は、讀者に子供に對する親愛の情を湧き立たせる。教師のみならず一般國民にもお薦めする。(四六頁) 定價一五〇圓 發行東京市神田區大塚町内閣印刷局 昭和十六年七月三十日發行

讀者調査カードを印刷出して下さい。集計に取りかゝつてみます。

戦争といふ現實にぶつかつて、何を體驗し、どうして自己を鍛へたかを述べてゐる。殊に復讐を極めた修水河の渡河戰の場面などでは著者の戰場である細帯所を通して、冷僻な態度と一面歌人としての文學的情熱の程よい調和の下に描いてゐる。(四六頁) 定價二〇〇圓 發行東京市神田區大塚町内閣印刷局 昭和十六年七月三十日發行

農業經營の新機構(石橋幸雄著)

曾つては過剰人口に悩んだ農村は、今や勞力不足に悩みつゝある。この過剰より不足への過程の本質的把握において、我々は新しい日本農業經營機構への方向を觀察することが出来る。本書は轉換期に立つ日本農業經營の實態把握に資するところが多い。殊に農業勞力流出と婦人勞働問題、勞力不足と農業經營の轉換、増産と農業物生産費の特異性との問題、農業經營適正規模問題等に関する示唆に富む處が多い。(四二四頁) 定價二五〇圓 發行東京市神田區大塚町内閣印刷局 昭和十六年七月三十日發行

昭和十六年七月三十日發行	週報	一部 五錢	定 價	申 込 所	御 注 意
編輯者 東京市神田區大塚町	發行所 東京市神田區大塚町	印刷所 東京市神田區大塚町	一部 五錢	内閣印刷局發行課 電話九ノ内三五一九 發行東京一九〇〇番	▲本誌より轉載の場合必ず「週報第何頁より轉載」の旨を明記し、その轉載料を情報局編輯部第三課に送り下さい。 ▲本誌の無断で複製してはなりません。 ▲本誌の無断で複製してはなりません。 ▲本誌の無断で複製してはなりません。 ▲本誌の無断で複製してはなりません。



日産火災海上保険株式會社

社長 伊東 鮎川 義
社 相談役 東京 日比谷



日産生命保険株式會社

社長 伊東 鮎川 義
社 相談役 東京 日比谷

週報 週く導億一るび伸

報

昭和十七年七月三十一日第三種郵便物認可 (毎週一回水曜日發行)

一枚一圓 特別報國債券

一等割増金五百圓

支那

僅か二年で還へされます
一部を二回の抽籤で中途償還し
残りのものは二年後の昭和十八
年九月には全部還へされます
一等割増金は五百圓であります
本年十月と明年十月との二回抽
籤があつて一等五百圓以下多数
の割増金が附きます
報國債券又は貯蓄債券と引換へ
ることが出来ます
第一回の抽籤(本年十月)が済む
と其の翌月から償還しないもの
でも一枚一圓の割合で賣出中の
五圓又は十圓の報國債券或ひは
貯蓄債券と引換へることが出来
ます

賣出場所
日本勸業銀行本支店出張所・郵
便局・主なる銀行・證券業者・
煙草小賣店

内閣印刷局印刷發行

(判LA51格規定國はさき大の書本)